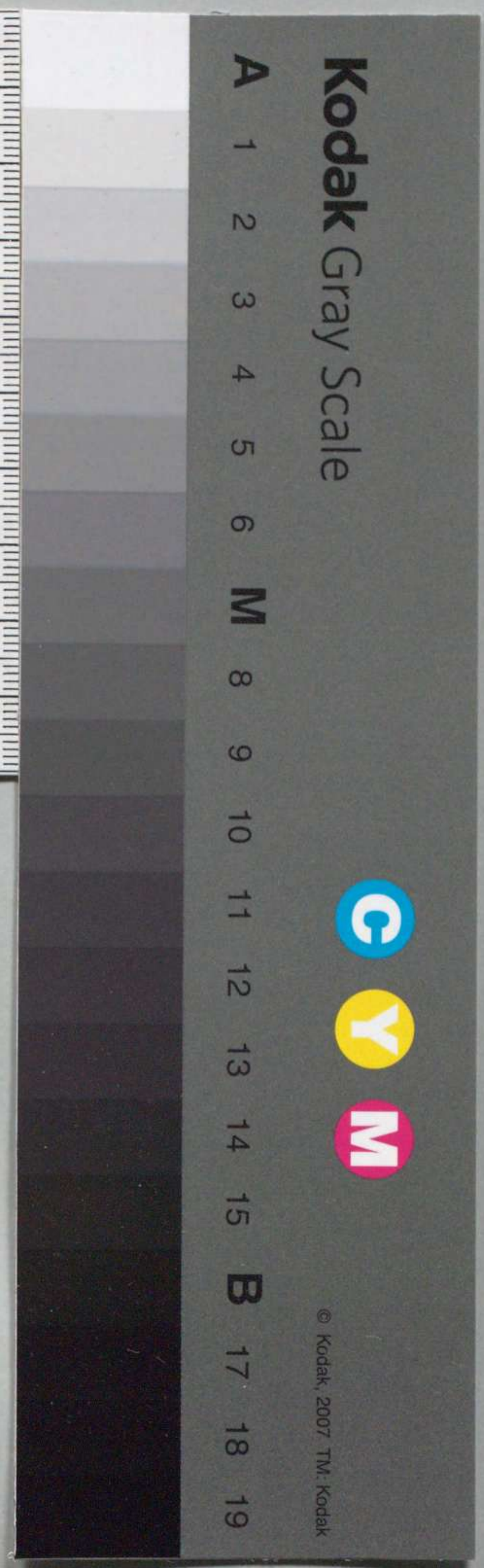
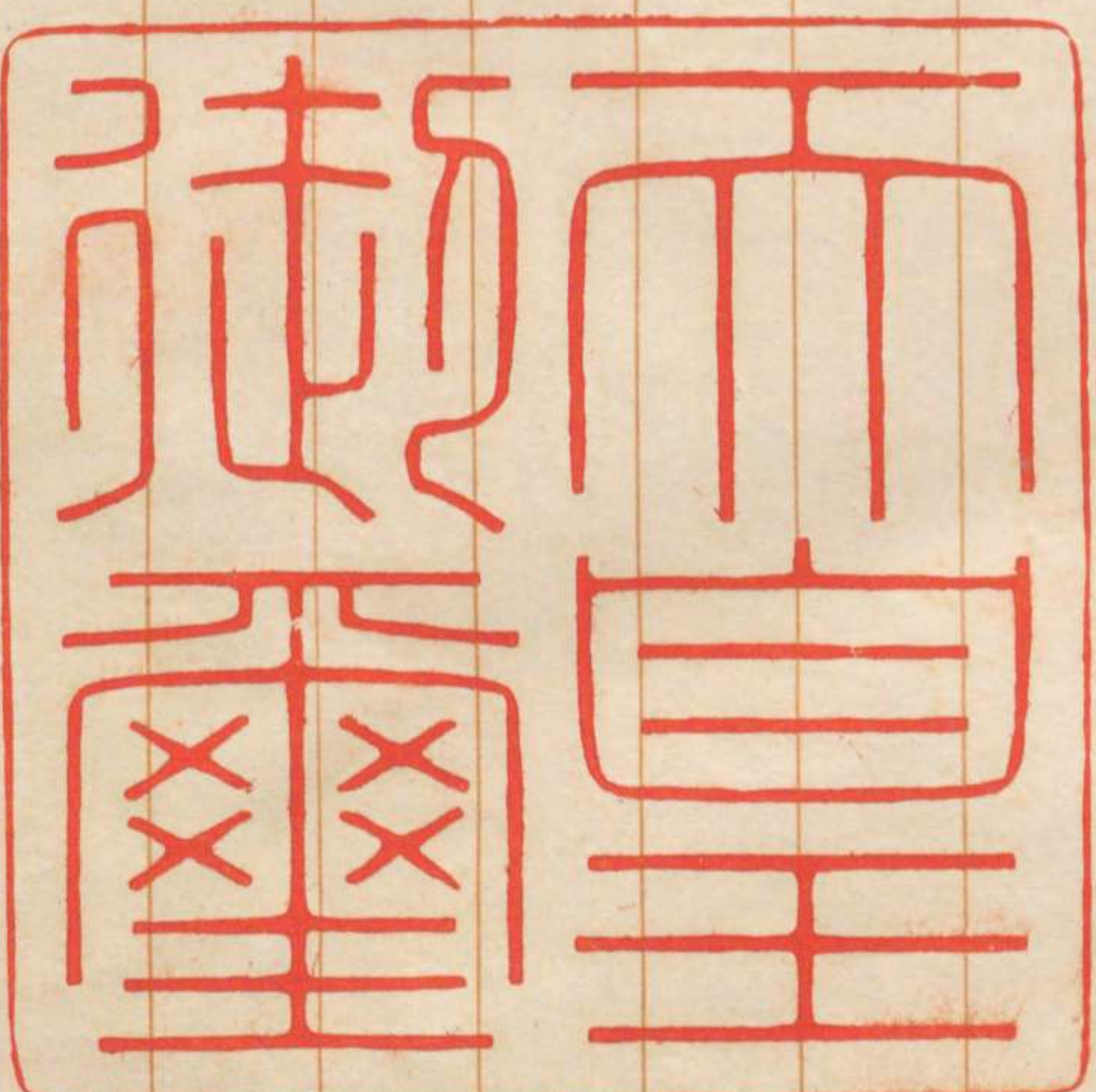


勅令第二万二千号

朕税關規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ
シム本規則ハ明治二十三年十一月一日
ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

睦仁



明治二十三年九月

大藏大臣伯爵松方正義

勅令第二百三號
稅關規則

第一章 外國通航船及輸出入貨物

第一條 外國通航船入港シタルトキハ
其船長ハ入港ノ時ヨリ四十八時内ニ
入港届書及積荷目錄ヲ稅關ニ差出ト
同時ニ船籍證書船舶登記證書船鑑札
及仕出港ノ出港免狀若ハ之ニ代ルヘ
キ證憑書類ヲ稅關ニ預ケ入港手數料

十五圓ヲ納ムヘシ但貨物ヲ積卸セス
シテ入港ノ時ヨリ四十八時内ニ出港
スル者ハ此手數ヲ為スニ及ハス

第二條 積荷目錄ニ遺漏若ハ相違ノ事
項アルトキハ入港手數ヲ了リタル時
ヨリ二十四時内ハ税關ノ認許ヲ得之
ヲ訂正スルコトヲ得
前項ノ時限ヲ經過シタル後積荷目錄
ヲ訂正セシトスルトキハ手數料十五
圓ヲ納ムヘシ

第三條 外國通航船出港セントスルト
キハ其船長ハ出港ノ時ヨリ二十
四時前ニ出港届書ヲ税關ニ差
出し出港手數料七圓ヲ納メ第
一條ニ依リ税關ニ預ケタル船籍
證書船舶登記證書船鑑札及
證憑書類ヲ受戻シ出港免狀
ヲ受クヘシ

第四條 外國通航船出港手數ヲ了リタ
ル後尚ホ貨物ヲ船積シ若ハ陸揚セン

トスルトキハ更ニ第一條ノ手數ヲ為
シ其手數料ヲ納メ其出港ノ時モ亦第
三條ノ手數ヲ為シ其手數料ヲ納ムヘ
シ但稅關手數既濟ノ貨物ヲ船積シ若
ハ陸揚スル者ハ此ノ限ニアラス
第五條 郵船ハ同時ニ入港及出港ノ手
數ヲ為スコトヲ得
第六條 郵船ハ其港ニ陸揚スル貨物ノ
外ハ積荷目錄ニ記載スルコトヲ
要セス

第七條 郵船ハ出港手數ヲ了リタル後
ト雖第四條ノ手數ヲ為サスシテ貨物
ヲ船積シ若ハ陸揚スルコトヲ得
第八條 外國通航船航海中避難ノ為メ
已ムヲ得スシテ入港シタルトキハ入
港ノ時ヨリ四十八時内ニ其事由ヲ稅
關ニ申出認許ヲ受クヘシ
前項ノ船舶修繕其他已ムヲ得サル事
故ニ由リ假ニ其積荷ヲ陸揚シ又ハ損
傷ノ貨物ヲ賣拂ヒ若ハ船中必需ノ物

品ヲ積入ル場合ニ於テハ入出港手數
ヲ為スヲ要セス其他ノ貨物ヲ陸揚シ
船積シ船移シ若ハ假ニ陸揚シタル貨
物ヲ賣拂ハントスルトキハ第一條ノ
手數ヲ為シ其手數料ヲ納メ其出港ノ
時モ亦第三條ノ手數ヲ為シ其手數料
ヲ納ムヘシ

第九條 外國通航船ハ日没ヨリ日出マ
テノ間及税關ノ休日ニハ税關長ノ特
許ヲ受クルニ非サレハ貨物ヲ陸揚シ

船積シ若ハ船移スルコトヲ得ス
前項ノ日時間ハ艙口其他貨物ヲ納ル
ヘキ場所ハ税關監吏之ヲ封鎖スヘシ
第十條 外國通航船避難ノ為メ已ムヲ
得スシテ不開港ニ入港シタルトキハ
船長ハ其事由ヲ記シタル書面ヲ其地
ノ町村役場若ハ浦役場ニ差出スヘシ
若シ船中需用品ヲ積入ルトキハ別
ニ其目錄ヲ差出し各其證明ヲ受ケ他
日開港ニ入港シタルトキ之ヲ税關ニ

差出スヘシ

第十一條 船舶ヲ外國通航船ト為シ及
外國通航船ヲ沿海通航船ト為サント
スルトキハ船主ヨリ税關ニ申出船中
ノ検査ヲ經免狀ヲ受クヘシ

第十二條 輸出貨物ヲ船積セシトスル
者ハ其申告書ヲ税關ニ差出シ現品ノ
検査ヲ經輸出税目ニ從ヒ納税シ船積
免狀ヲ受クヘシ

第十三條 輸入手數既濟ノ外國産貨物

ヲ外國ニ積戻サントスル者ハ輸出税
ヲ納ムルニ及ハス但書面ヲ以テ其旨
ヲ税關ニ申出検査ヲ經船積免狀ヲ受
クヘシ

第十四條 船中ノ需用品ニ付キテハ輸
出税ヲ納ムルニ及ハス但船長ハ前條
ノ手數ヲ為スヘシ

第十五條 輸入貨物ヲ陸揚セシトスル
者ハ其申告書ニ仕入書ヲ添ヘ之ヲ税
關ニ差出シ陸揚免狀ヲ受ケ其貨物ヲ

陸揚シ現品ノ検査ヲ經輸入税目ニ從
ヒ納税シ輸入免状ヲ受ケテ之ヲ引取
ヘシ

前項ノ仕入書ハ貨物ノ輸入手數濟ノ
上其貨主ニ返付スヘシ

第十六條 内國産ノ貨物ヲ外國ヨリ積
戻リ左ノ事項ヲ具備スルトキハ輸入
税ヲ納ムルニ及ハス但前條ノ手數ヲ
為スヘシ

一 輸出ノ時ノ性質若ハ形状ヲ變セ

サルコト

二 輸出ノ日ヨリ滿五箇年ヲ經過セ
サルコト

三 輸出免状ヲ付スルコト

第十七條 無税品ヲ除クノ外仕入書ヲ
付セサル貨物ハ輸入ヲ許サス但税關
長其仕入書ヲ差出し能ハサル理由ア
リト認メ該貨主税關官吏ノ査定セル
數量尺度若ハ價額ニ從ヒ納税スルモ
ノハ此限ニアラス

第十八條 價ニ從ヒ徵稅スヘキ貨物ニ
シテ其原價ヲ稅關ニ於テ不相當ト認
ムルトキハ稅關鑑定官吏ヲシテ其價
ヲ査定セシメ其査定額ニ從ヒ納稅セ
シムヘシ
若シ貨主前項ノ査定額ニ從ヒ納稅ス
ルコトヲ欲セサルトキハ該査定額ヲ
以テ稅關ニ其貨物ノ買上ヲ請フコト
ヲ得但第十七條ノ場合ニ於テハ此限
ニアラス

第十九條 外國通航船舶ヲ他ノ船舶
ニ若ハ他ノ船舶ヨリ積移サントスル
トキハ書面ヲ以テ其旨ヲ稅關ニ申出
船移免狀ヲ受クヘシ但郵船ニ積載シ
タル貨物ヲ其會社所屬ノ庫船若ハ船
舟ニ積移スニハ免狀ヲ受クルニ及ハ
ス

第二十條 有稅ノ貨物損傷シタルカ為
メニ減稅ヲ請ハントスル者ハ現品ノ
檢査ヲ受クル前其旨ヲ稅關長ニ申出

へし税關長ハ税關鑑定官吏ヲシテ現
品損傷ノ程度ヲ査定セシメ相當ノ減
税ヲ為スヘシ

第二十一條 外國軍艦ノ備用品ヲ買受
クルトキハ賣主ノ證明書ヲ受テ書面
ヲ以テ其旨ヲ税關ニ申出相當ノ輸入
税ヲ納ムヘシ

第二十二條 内國産金銀地金ハ政府ニ
於テ公賣シタルモノヲ除クノ外ハ輸
出スルコトヲ得ス

第二十三條 船客ノ旅具ハ陸揚船積共
書面ヲ以テ其旨ヲ申出ルニ及ハス但
通關前ニ税關監吏ノ検査ヲ受クヘシ
税關ニ於テ旅具ト認メサルモノハ相
當ノ税金ヲ納メシムヘシ

第二十四條 第八條ノ船舶修繕其他已
ムヲ得サル事故ニ由リ一時貨物ヲ陸
揚スルトキハ之ヲ税關ニ預クヘシ
前項ノ貨物ヲ陸揚シ及之ヲ本船ニ積
戻スニハ輸入出ノ手数ヲ為スニ及ハ

ス但其貨物ノ保管ニ要スル諸費ハ船
長ヨリ之ヲ税關ニ納ムヘシ
第一項ノ貨物ヲ賣拂ハントスルトキ
ハ第十五條ノ手數ヲ為シ其税金ヲ納
ムヘシ

第二十五條 外國通航船若ハ外國船ヲ以
テ貨物ヲ開港間ニ回漕セントスル者
ハ書面ヲ以テ其旨ヲ税關ニ申出現品
ノ検査ヲ經回漕免狀ヲ受ケテ之ヲ船
積スヘシ

第二十六條 前條ノ貨物若シ有税内國
産ナルトキハ相當ノ税金ヲ假納スル
カ若ハ税關長ノ満足スヘキ證書ヲ差
入レ置キ回漕免狀付與ノ日ヨリ滿六
箇月以内ニ仕向港税關ノ陸揚證書ヲ
差出し其假納税金若ハ前ニ差入レ置
キタル證書ヲ受戻スヘシ
前項ノ期限内ニ仕向港税關ノ陸揚證
書ヲ差出サ、ルニ於テハ輸出シタル
モノト看做シ其税金ヲ納メシムヘシ

第二十七條 第二十五條ノ貨物若シ輸
出禁制品ナルトキハ回漕免状付與ノ
日ヨリ滿六箇月以内ニ仕向港税關ノ
陸揚證書ヲ差出スヘシ

第二十八條 第二十六條及第二十七條
ノ貨物ヲ積載シタル船舶航海中破船
其他ノ事故ニ由リ貨物ヲ仕向港ニ回
漕ニ能ハサルトキハ其事由ヲ仕出港
税關ニ届出該船出港ノ日ヨリ滿一箇
年以内ニ其證據ヲ舉示シ假納税若ハ

前ニ差
トヲ得

第二十九條

仕向港ニ於
面ヲ以テ其
港税關ヨリ
ノ證明ヲ受
引取ヘシ

第三十五條ノ回漕貨物ヲ

陸揚セシトスル者ハ書
向港ノ税關ニ申出仕出
テタル回漕免状ニ陸揚
税品ノ検査ヲ經テ之ヲ
前項回漕免状ノ紛失若ハ遺忘ニ因リ
之ヲ仕向港税關ニ差出シ難キトキハ



ル證書ヲ受戻スコ

第二十七條 第二十五條ノ貨物若シ輸
出禁制品ナルトキハ回漕免状付與ノ
日ヨリ滿六箇月以内ニ仕向港税關ノ
陸揚證書ヲ出スヘシ

第二十八條 第二十六條及第二十七條
ノ貨物ヲ積シタル船舶航海中破船
其他ノ事故由リ貨物ヲ仕向港ニ回
漕ニ能ハシキハ其事由ヲ仕出港
税關ニ於テ山港ノ日ヨリ滿一箇
年以内 擧示シ假納税若ハ

前ニ差入レ置キタル證書ヲ受戻スコ
トヲ得

第二十九條 第二十五條ノ回漕貨物ヲ
仕向港ニ於テ陸揚セシトスル者ハ書
面ヲ以テ其仕向港ノ税關ニ申出仕出
港税關ヨリ受ケタル回漕免状ニ陸揚
ノ證明ヲ受ケ現品ノ検査ヲ經テ之ヲ
引取ヘシ
前項回漕免状ノ紛失若ハ遺忘ニ因リ
之ヲ仕向港税關ニ差出シ難キトキハ

税關長ノ満足スヘキ證書ヲ差入レ置
キ其證書ノ日附ヨリ滿四箇月以内ニ
回漕免状若ハ之ニ代ルヘキ仕出港税
關ノ證明書ヲ差出シ前ニ差入レ置キ
タル證書ヲ受戻スヘシ

第三十條 外國通航船修繕ノ為メ開港
ヨリ不開港ニ回船セントスルトキ又
ハ重量ノ貨物ニシテ開港ニ於テ積卸
ヲ為シ難ク不開港ニ回船セントスル
トキハ書面ヲ以テ其旨ヲ申出税關長

ノ特許ヲ受クヘシ

第二章 沿海通航船及輸入手數
未濟貨物回漕

第三十一條 沿海通航船入港シタルト
キハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時内
ニ入港届書ヲ税關ニ差出シ同時ニ船
籍證書船舶登記證書及船鑑札ヲ預ク
ヘシ

第三十二條 沿海通航船出港セントス
ルトキハ其船長ハ出港ノ時ヨリ四時

前ニ出港尾書ヲ税關ニ差出シ船籍證書船舶登記證書及船鑑札ヲ受戻スヘシ

第三十三條 船籍證書船舶登記證書ノ受有ヲ要セサル諸船及一定ノ港津間ニ往復スル積量百噸以下ノ西洋形船舶ハ船主ヨリ豫テ税關ニ届出認許ヲ受クルニ於テハ第三十一條及第三十二條ノ手數ヲ為スニ及ハス

第三十四條 沿海通航船輸入手數未濟

ノ貨物ヲ積載シテ出港セントスルトキハ其船長ハ第三十二條ノ手數ヲ為スト同時ニ出港積荷目錄ニ通テ税關ニ差出スヘシ

第三十五條 前條ノ船舶仕向港ニ入港シタルトキハ其船長ハ第三十一條ノ手數ヲ為スト同時ニ入港積荷目錄ヲ税關ニ差出スヘシ

第三十六條 沿海通航船ヲ以テ輸入手數未濟ノ貨物ヲ開港間ニ回漕セント

スル者ハ書面ヲ以テ其旨ヲ税關ニ申
出船積免状ヲ受クヘシ
前項ノ貨物ヲ陸揚セシトスル者ハ第
十五條ニ又船移セントスル者ハ第十
九條ニ據ルヘシ

第三章 罰則

第三十七條 外國通航船第一條ノ時限
内ニ入港手數ヲ為サ、ルトキハ船長
ヲ六十圓ノ罰金ニ處シ尚ホ其手數ヲ
為サ、ルニ於テハ初犯ノ時ヨリ二十

四時ヲ過ル毎ニ更ニ同額ノ罰金ニ處
ス

第三十八條 第九條第二項ニ掲クル税
關監吏ノ為シタル封鎖ヲ破却シ若ハ
之ヲ取除キタルトキハ船長ヲ六十圓
ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第十九條及第三十六條第
二項ノ船移免状ヲ受ケスシテ船移シ
タル者ハ前條同額ノ罰金ニ處ス

第四十條 外國通航船第八條第一項ノ

罰

場合ニ於テ規定ノ期限内ニ入港ノ事
由ヲ申出サルトキハ船長ヲ十五圓ノ
罰金ニ處ス

第四十一條 外國通航船第十條ノ場合
ニ於テ町村役場若ハ浦役場ノ證明ヲ
受ケス又ハ證明ヲ受クルト雖之ヲ稅
關ニ差出サ、ルトキハ船長ヲ十五圓
ノ罰金ニ處ス

第四十二條 沿海通航船第三十一條ノ
期限内ニ入港ノ手數ヲ為サス又ハ第

三十二條ノ期限内ニ出港ノ手數ヲ為
サ、ルトキハ船長ヲ五圓ノ罰金ニ處
ス

第四章 雜則

第四十三條 輸出入貨物ノ類別ニ就キ
稅關鑑定官吏ノ査定ニ不服アル者ハ
其査定ノ日ヨリ十日以内ニ稅關長ニ
申告シ判定ヲ請フコトヲ得
稅關長ノ判定ニ不服アル者ハ判定ノ
日ヨリ三十日以内ニ判定書ヲ添へ大

蔵大臣ニ裁定ヲ請フコトヲ得

第四十四條 税關官吏ハ必要ノ場合ニハ輸出入貨物ノ小部分ヲ見本トシテ税關ニ留置クコトヲ得

第四十五條 此ノ規則ニ依リ税關ニ差出スヘキ書面ハ總テ税關一定ノ書式ヲ用ヒ船主船長若ハ貨主之ニ署名捺印スヘシ

第四十六條 税關ヨリ交付スル諸免状ノ謄本其他別段ノ證書ヲ請フ者ハ一

通毎ニ一圓五十錢ノ手数料ヲ納ムヘシ

第四十七條 此ノ規則ニ於テ日時ヲ以テ期限ヲ設ケタルモノハ其期限中ニ税關ノ休日ヲ算入セス又年月ヲ以テ期限ヲ設ケタルモノハ休日ヲ算入ス

第四十八條 税關ノ執務時間ハ休日ヲ除キ午前十時ヨリ午後四時マテトス但臨時開廳ヲ請フ者ハ税關長ノ特許ヲ受クヘシ

第四十九條 第九條第一項及第四十八條但書ノ場合ニ於テ特許ヲ請フ者ハ定規ノ手数料ヲ納ムヘシ但其手数料ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五十條 此ノ規則ニ於テ船主ト稱スルハ其船ノ所有主若ハ現ニ其船ノ使用權ヲ有スル者ヲ云ヒ船長ト稱スルハ現ニ其船ヲ管理シ若ハ指揮スル者ヲ云ヒ貸主ト稱スルハ貨物ノ所有主若ハ其受託人ヲ云フ

第五十一條 此ノ規則ニ於テ輸出ト稱スルハ貨物ヲ外國ヘ輸出スルヲ云ヒ輸入ト稱スルハ貨物ヲ外國ヨリ輸入スルヲ云ヒ貨物ト稱スルハ旅具及船用用品ヲ除クノ外一切ノ物件ヲ云フ

第五十二條 此ノ規則ニ於テ入港ノ時ト稱スルハ船舶ノ投錨若ハ繫留セシトキヲ云ヒ出港ノ時ト稱スルハ拔錨若ハ解纜ノトキヲ云フ

第五十三條 密輸出入ヲ税關ニ申告ス

ル者ニハ其没收セシ貨物代價ノ半額
ヲ給ス

附則

第五十四條 露西亞國樺太島貿易ニ從
事スル船舶ニ限り當分ノ内出入港手
數料及該船ニ搭載スル貨物ノ輸出入
税ヲ免除ス但船舶ノ出入港手數ニ限
リ第三十一條第三十二條ヲ適用ス